

私が開業したのは 2010 年ですが、開業当初経営や診療がうまくいくかどうか
も分からない手探りの状態でした。開業後 5 年間で自院の行く末が決まると思
い目標を設定しておりました。2015 年、なんとかその目標を達成してとりあえ
ず食べていけるというような実感が湧いてきた頃ですが、その次の目標をどう
すべきか、医院の方向性も見失っていました。また今まで受講したセミナー
などは、主に自分の技術向上のためで、医院のシステムや、スタッフとの共同
作業などはあまり考えたこともありませんでした。自分の症例を振り返っても、
スタッフと共にやり遂げたという感じはなく、そのせいか術後の口腔内写真で
も歯肉の炎症が残っていたり、プラークが残っていたりと自分だけが頑張っ
てもだめだという思いも感じ初めていました。そんな折にまたま築山先生の講演
を聞く機会がありまして、何かのきっかけになればと思い受講させて頂きまし
た。

初日は講演会、次の日は講義でしたが、私にとって初めて聞くような内容ば
かりでした。MTM、OP セミナーなど何のことかさっぱり分からず、もう体得
されたい他の受講者との差をまざまざと感じさせられました。しかし何とか
自院に取り入れようと、初めは熊谷先生の出演された番組をスタッフみんなで
見たりして、どんなセミナーを受講しているのかをスタッフに浸透させるのに
努めました。酒田市で開催されているセミナーに比べれば触りなのかもしれま
せんが、オーラルフィジシャンという考えを持てたことを幸運に感じます。

MTM についてはすんなりと受け止めることができました。開業当初から口腔
内写真やデンタル 10 枚法などを撮影して説明していたからです。その延長と
してサリバテストや OHIS を追加していく、という形で医院のシステムに取り
入れることができました。特にバイトウイングがとても情報量の多い撮影法で
あることを発見できたことは大きいと思います。しかしその分スタッフの仕事
量が増えるという問題がありましたので、衛生士はそういった業務に専念し、
歯科助手はアシスタント業に特化するという役割分担を明確にして業務の効率
化を計るよう努力しないといけないなと思いました。また、衛生士が検査を行
い、資料をまとめるところまではすんなりできるようになったのですが、それ
を分析することはまだまだできていません。地道なスタッフとの勉強が必要だ
なと思います。これからも MTM を軸に置いた医院づくりを進めていきたいと

思います。

もう一つこれだ！と思ったことは、築山先生がスライドで出された飛行機の写真です。個人もしくは医院として、どうしても治療もしくは予防に偏りがちで、ともすれば一方がもう一方を批判しがちになると思いますが、歯科医師として、歯科医院としてどちらも大事であるということを明確にお示しになったと思います。どちらに偏ることなく、批判することなく、両立を目指していこうと思いました。

PHIJを受講して、それまで見失っていたこれからの自院の進むべき道が新たにひらけてきました。講師、インストラクターの先生方に心から感謝申し上げます。